

授業科目名	行政学演習	科目コード	K160100
科目区分	専門教育科目	開講時期	前期
学部・学科等	国際学部 国際社会学科	曜日	月曜日
必修・選択区分	選択	時限	7~8
標準対象年次	3	授業形態	演習
単位数	2	教室名	行政学資料室
担当教員名	中村 祐司		
電話番号 (代表者名)	028-649-51841	e-mail アド レス	yujin@cc.utsunomiya-u.ac.jp
オフィスアワー	(月) 13:00-14:00		
授業の概要	<p>【授業の到達目標】 各自の興味・関心にもとづき、実際の行政活動を対象とした実証的な調査活動を行う。例えば、各省庁や自治体が抱えている政策課題について、政府刊行物や面接取材によって一次資料や最新の情報の収集に努め、変動する社会状況への行政対応のあり方について考察する。</p> <p>【前提とする知識・経験】 政策について現地取材を行いつつ真剣に学ぼうとする意欲。</p> <p>【授業の具体的な進め方】 書籍文献やインターネット情報を利用すると同時に、実際の行政サービスの現場に足を運び、いわゆる「足でかせいだ」資料収集活動に従事する。論文作成にあたっては章立てから執筆担当までゼミ生同士で話し合い、共通理解を維持しつつ、論文の完成を目指していく。毎回の演習ではレジメを作成し、これをもとに調べた事項の報告と質疑応答を行う。論文は研究室HPに掲載する。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1週 行政活動の範囲と性格 第2週 法律による行政の限界 第3週 各種行政活動についてーその1 第4週 各種行政活動についてーその2、論文テーマの決定 第5週 中央省庁における政策課題 第6週 地方自治体における政策課題、 レジメ報告の開始（以後第13週まで毎回） 第7週 分権改革の行方 第8週 市民意識調査の手法 第9週 政府刊行物の読み方 第10週 政府関係資料の収集方法 第11週 行政活動をめぐる分析の視点 第12週 政策の立案過程 第13週 政策の実施過程 第14週 行政施策立案の試み 論文の提出、研究室HP掲載作業 第15週 行政活動の評価 論文をめぐる意見交換</p> <p>【教科書・参考書・教材と入手方法】 教材を適宜提示するが、演習生によるインタビューや一次資料の収集が中心。</p> <p>【成績評価法】 毎回の出席は大前提。ゼミ運営やHP作成、新規アイディアなどをめぐる意欲的な意見提示と実務面での貢献（40%）、論文作成に対する貢献度（40%）、とくに行政学研究室の卒論生や院生との積極的なコミュニケーションの達成（20%）。秀は上記各評価において卓越した結果（例えば全出席、的を射た積極的な質問や意見の提示、卓越した論文内容）を出した受講生に与える。</p> <p>【教員からのメッセージ】 本演習を通じて文献の講読力、資料の収集や面接取材といった調査活動における積極性や分析の力量、施策立案をめぐる構想力などをぜひ身に付けてほしい。同時に大学生活における貴重な人間関係の構築や交流を達成してほしい。</p>		